

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	文化地理学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号		0093		科目区分	一般 / 選択		
授業形態				単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		生産デザイン工学科（共通科目）		対象学年	5		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		使用しない					
担当教員		白神 宏					
到達目標							
1. 民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。 2. 照葉樹林文化と日本文化・中国文化との関係について理解し、説明できる。 3. 料理法・加工法の発展過程や伝播過程について考察し、説明できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について深く考察できる。		民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性についておおまかに考察できる。		民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できない。	
評価項目2		照葉樹林文化と日本文化・中国文化との関係について理解し、十分に説明できる。		照葉樹林文化と日本文化・中国文化との関係について理解し、おおまかに説明できる。		照葉樹林文化と日本文化・中国文化との関係について理解し、説明できない。	
評価項目3		料理法・加工法の発展過程や伝播過程について考察し、十分に説明できる。		料理法・加工法の発展過程や伝播過程について考察し、おおまかに説明できる。		料理法・加工法の発展過程や伝播過程について考察し、説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 E① 歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。 学習・教育到達度目標 E② 日本語で論理的に記述し、報告・討論できる。 学習・教育到達度目標 F① 歴史・文化・社会に関する基礎的な知識を身に付ける。 学習・教育到達度目標 G④ 健やかな心身を持ち、社会性、協調性を身に付ける。 JABEE SE① 歴史・文化・日本文学（国語）・外国語を学び、多様な文化を理解できる。 JABEE SF① 歴史・文化・社会に関する知識を持ち、それらを示すことができる。							
教育方法等							
概要		世界の諸民族は、それぞれ多様な文化を育んできた。また、文化は伝播や他文化との接触により絶えず変化してきた。国際社会の中で活躍する技術者として、多様な文化の存在を理解し尊重することは重要である。本授業では、食文化を素材として、文化の形成や伝播について理解を深めることを目的とする。					
授業の進め方・方法		プリントを配布し、スライドを見てもらいながら授業を進める。					
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	照葉樹林文化（1）		照葉樹林地域の文化的特色について説明できる。		
		2週	照葉樹林文化（2）		照葉樹林文化の諸要素について説明できる。		
		3週	照葉樹林文化（3）		照葉樹林文化の諸要素について説明できる。		
		4週	麦文化とその伝播		麦の栽培地域の地理的特性と料理法の変遷について説明できる。		
		5週	麦の料理法～パン（1）		各地のパンの種類と地域的特性について説明できる。		
		6週	麦の料理法～パン（2）		各地のパンの種類と地域的特性について説明できる。		
		7週	麦の料理法～パン（3）		各地のパンの種類と地域的特性について説明できる。		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	麦の料理法～麺（1）		麺の系列と伝播地域の過程について説明できる。		
		10週	麦の料理法～麺（2）		世界各地の麺文化の特色について説明できる。		
		11週	麦の料理法～麺（3）		世界各地の麺文化の特色について説明できる。		
		12週	麦の料理法～麺（4）		世界各地の麺文化の特色について説明できる。		
		13週	世界の乳利用（1）		世界各地のミルクの利用形態について説明できる。		
		14週	世界の乳利用（2）		世界各地のミルクの利用形態について説明できる。		
		15週	世界の乳利用（3）		世界各地のミルクの利用形態について説明できる。		
		16週	定期試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。		3	
評価割合							
		試験		演習・レポート		合計	
総合評価割合		90		10		100	
基礎的能力		90		10		100	